

昭和の香りのする
温泉地

しんしんと雪の降る季節は、どこも観光客のにぎわいが一段落して、東北各地の温泉も宿の予約がとりやすくなる。また、リーズナブルな料金の湯治プランを設定するところも多く、こういうときにこそ気軽に温泉旅に出かけたいものである。

岩手県雫石町の鶯宿温泉も、そんな冬の旅にお勧めしたい温泉の一つだ。

温泉街を見回すと、もつともにぎわっていた時代は過ぎたかの感があるが、山がちな狭い土地に盛業中休業中を含めて数多くの旅館飲食店がひしめきあい、この温泉がかつてどれだけにぎわっていたかが偲ばれる。温泉民宿や自炊旅館が散見されるのも特徴で、藩政時代には南部の殿様も湯治に来ていたという記録もあり、鶯宿の湯そのものが古くから人々に親しまれてきた歴史を垣間見ることができる。

温泉街を見回すと、もつともにぎわっていた時代は過ぎたかの感があるが、山がちな狭い土地に盛業中休業中を含めて数多くの旅館飲食店がひしめきあい、この温泉がかつてどれだけにぎわっていたかが偲ばれる。温泉民宿や自炊旅館が散見されるのも特徴で、藩政時代には南部の殿様も湯治に来ていたという記録もあり、鶯宿の湯そのものが古くから人々に親しまれてきた歴史を垣間見ることができる。



ロビーには火の
入った囲炉裏

ホテル加賀助は鶯宿
温泉の中でも比較的
規模が大きい



鶯宿温泉
岩手県
雫石町

ホテル加賀助



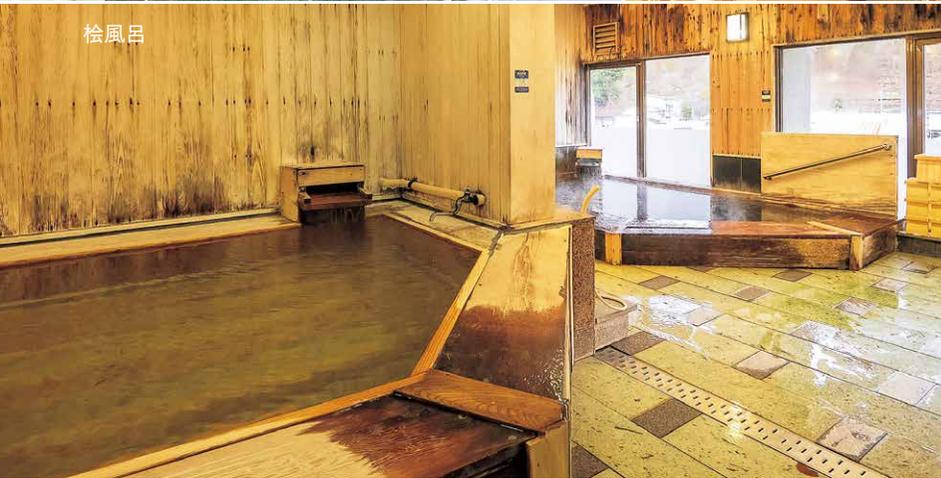
源泉掛け流し、ちょっと熱めの湯が湯船を満たす



大理石風呂



女湯



桧風呂

最上階にある展望大浴場。大理石風呂④と桧風呂⑤がある。男湯と女湯は夜間に入れ替えるので一泊すれば両方入ることができる

鶯宿温泉は狭い土地に中小の宿がひしめきあっている④。温泉郷内の渓流沿いには足湯がある⑤



古くから親しまれた
熱めの湯

鶯宿の湯は、かつてこの地に移り住んだ加賀の国の木こり「助」が発見したと言い伝えられている。ホテル加賀助の館名は、そんな鶯宿温泉開祖の名にちなむ。当主は4代目。鶯宿温泉でも老舗の一軒だ。現在のホテルの建物は昭和56年の建築だが、ここここに古き良き日本旅館の味わいを残している。

6階建ての最上階が展望大浴場。桧風呂と大理石風呂で、深夜に男女を入れ替えるので一泊すれば両方に入れる。無色透明無臭のアルカリ性単純泉で、神経痛、胃腸病、リウマチ、婦人病に効能があり、保湿効果もある。あたたまりの湯で、寒い季節にこそ入ってみたい湯だ。源泉掛け流しの湯温は湧き出し口で約50℃と、大地のエネルギーを感じさせる熱さ。この力強い湯こそが鶯宿温泉の醍醐味というもので、さすがにそのままでは熱いので、各自で水で薄めて入浴



加賀助は日帰り滞在を楽しむグループ客も多い



- ①この日の焼物はオキメダイ
- ②岩手県産和牛のしゃぶしゃぶ
- ③彩り豊かな先付
- ④お造りはサワラのタタキなど
- ⑤旬の地場野菜を使った煮物
- ⑥ミズノコブのウニ和え
- ⑦具だくさんの芋の子汁

をする。この湯に引かれて、日帰り滞在して湯あみと飲食を楽しむグループ客も多い。
旅の楽しみの一つと言えは料理だが、ホテル加賀助では鶯宿温泉と隣り合うつなぎ温泉の7軒の宿と



鶯宿の上流にある逢滝(おうたき)は村の若い男女が逢瀬を重ねた場所と④
瀬音絶えない鶯宿川の渓流のほとりに立つホテル加賀助⑤

なるが、冬の運転が不安な人には、湯治プラン期間限定で毎週金・土日に盛岡駅前から宿まで無料送迎バスが出る(前日まで要予約)。午

秋田からだ奥羽山脈を越えることに

2名からの利用になるが、こういうプランを利用して夫婦で冬の温泉旅を楽しむのも悪くない。湯治プランは4月20日まで。

泊3食税込7500円(休前日は9660円)という格安な料金で楽しめる。安な料金で楽しめる。2名からの利用になるが、こういうプランを利用して夫婦で冬の温泉旅を楽しむのも悪くない。湯治プランは4月20日まで。

冬は湯治プランもお勧め

「地産馳走プロジェクト」に参加しており、地元を中心とした旬の食材が食卓を彩る。北東北の老舗の温泉宿らしい素朴な、その土地ならではの料理も楽しみに出かけてみたいもの。



客室の最多タイプはバス・トイレ付き和室で37室⑥。ツインベッドの入った和洋室タイプは3室⑦



朝ごはんも地元の野菜を使って



朝食時にはスタッフが「雫石あねっこ」衣装でおもてなし

鶯宿温泉 ホテル加賀助

HOTEL KAGASUKE

〒020-0574
岩手県岩手郡雫石町鶯宿温泉
TEL.019-695-2216
FAX.019-695-2218
http://www.kagasuke.com

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

前11時と午後2時45分に駅前を出るので、湯治プランをフルに満喫したければ午前11時までに盛岡駅に着くようにすればいい。
鶯宿には、いい形で昭和の温泉場風情が残っている。こういうところの温泉宿でのんびりした冬の旅を楽しんでみたい。
(文・写真)かとうりゅうえつ 秋田市